

日退教発 19 - 26 号
2019 年 9 月 3 日
(FAX 送信 4 枚)

日本退職教職員協議会
各単会 会長様

日本退職教職員協議会
会長 竹田邦明

「沖縄と連帯する日退教第10次沖縄交流団」

団員の募集について

沖縄県内の基地は、住宅地と飛行場、住宅地と演習場の距離が接近しすぎているだけでなく、島の周りには訓練空域や訓練海域が張り巡らされています。事故はどこでも起こりうる、それが沖縄の現実です。

昨年 9 月 30 日に行われた沖縄県知事選挙では、翁長前県知事の遺志を継ぎ、辺野古新基地建設反対を訴えた玉城デニーさんが勝利し「辺野古新基地はいらない」という大きな民意が改めて示されました。

2 月 24 日、辺野古の米軍新基地建設に必要な埋め立ての賛否を問う県民投票が行われました。

3 択のうち、埋め立てに「反対」は 4 3 万 4 2 7 3 票に上り、投票総数の 7 1 ・ 7 % を占めました。県民投票条例で定める知事の結果尊重義務が生じる投票資格者総数の 4 分の 1 を超えました。

辺野古新基地予定地近くの陸上部から海にかけて「辺野古断層」と「楚久(すっく)断層」という 2 本の断層があります。この活断層は、地震や津波の発生源になり得るとして「弾薬庫や燃料庫があれば、あるいは核が持ち込まれたら、大惨事になりかねない」と警告されています。

活断層だけでなく、キャンプシュワブ東岸の大浦湾に面した埋め立て予定地の海底が「軟弱地盤」があることが明確になっています。沖縄防衛庁の地質調査結果の報告書によれば、地盤強度を示す「N 値」はゼロで、杭などはズブズブ沈むため

「マヨネーズの上にモノを置くような状態」の代物です。安倍政権は、埋め立て海域にある軟弱地盤の存在を認めましたが、工事の強行は止まっています。昨年 12 月 14 日から辺野古の海に土砂が投入され、3 月 25 日には新たな埋め立て区域に土砂の投入が行われています。

これまで、普天間飛行場所属のオスプレイやヘリの墜落、部品落下、不時着などの事故、トラブルが相次ぎました。昨年 1 月 8 日読谷村で攻撃ヘリコプター AH 1 が不時着しまし

た。その2日前の6日にも多用途ヘリUH1がうるま市に不時着。3年前の12月には、名護市沿岸でオスプレイが着水大破し、一昨年10月は東村で大型ヘリCH53Eが不時着炎上。12月には普天間飛行場に隣接する普天間第二小学校の校庭に、重さ約8キロの窓を同型機が落としました。子ども達のすぐそばに。一つ間違えば県民を巻き込む惨事につながりかねない重大事案が続きました。

県は米軍に対策を申し入れ、県議会や市町村議会は事故発生たびに飛行中止などの抗議決議を可決し、米軍に抗議しました。年がら年中この繰り返しです。このような事態は日本中どこを探してもありません。そのような状態が戦後70年以上も続いているのです。

米軍キャンプ・シュワブ、ゲート前では、今も連日、新基地建設に反対する市民が抗議活動を続けています。海岸に延びる仮設道路建設資材を搬入する工事用車両は、座り込む市民を排除し、多い日で200台を越えてゲート内に入っています。さらに沖縄防衛局は、辺野古新基地建設用の石材を海路でキャンプ・シュワブの建設現場に搬入しはじめました。ゲート前の座り込みで滞っている陸路の搬入を補い、作業を加速する狙いがあります。

普天間基地撤去・辺野古新基地建設反対の運動は「沖縄の運動」ではなく私たちの運動として、ひきつづき両退教とともにとりくみます。

日退教はこれまで9次にわたる「沖縄と連帯する日退教交流団」を組織し、現地で新基地建設に反対し行動する県・高退教の仲間、県民・支援者とともに短時間ではありますが、ともに行動してきました。

このような情勢の中で、下記のとおり、第10次交流を企画しました。各単会の皆様の積極的な参加を要請します。

記

「沖縄と連帯する日退教第10次沖縄交流団」

「基地の現状を学び、辺野古新基地建設工事に抗議しよう」

- 1 日程
- ・下記日程は現時点での予定です。ご承知ください。詳細はこの行程を基本に現地県退教・高退教と今後さらに調整します。
 - ・キャンプシュワブゲート前での行動に参加します。

2019年11月6日(水) 学習会(於・沖縄高教組・教育福祉会館)

教育福祉会館 〒902-0061 沖縄県那覇市古島 1-14-6

TEL : 098-887-1661 FAX : 098-885-3542

13 : 30 受付

14 : 00 学習会(内容検討中)

17：30 交流懇親会（教育福祉会館）

11月7日（木） 基地巡り・辺野古キャンプシュワブゲート前
座り込み、抗議行動ほか

7：30 集合・出発（沖縄県庁前）

各米軍基地周辺（普天間基地周辺）

辺野古（キャンプシュワブゲート前）

瀬嵩浜

17：00 那覇着（県庁前）

- 2 募集人員 20人（日退教申し込み後、定員に達している場合は速やかに連絡を入れます）
- 3 集合・解散 現地集合、現地解散となります
- 4 交通・宿泊 現地までの交通手段、宿泊は各自ご手配ください。
- 5 参加費 10,000円（バス代、昼食代、会場費、懇親会代、実費精算）
- 6 申込締め切り 参加申し込みは各単会でまとめて日退教へ
10月18日（金）日退教締め切り
- 7 その他 日程詳細は参加者に連絡いたします。

以上

「沖縄と連帯する日退教第 10 次沖縄交流団」

2019 年 11 月 6 日（水）～ 7 日（木）

参加者申込み名簿

申し込み日 2019 年 月 日

単会名	
連絡責任者	

参加者お名前（年齢）	(〒) 住 所	電話《できれば携帯》	Fax
()	(〒)		
()	(〒)		
()	(〒)		
()	(〒)		

注 「第 10 次沖縄交流団」参加者申し込み締め切りは 10 月 18 日（金） です

日退教 FAX 03-5275-2081